



北海道二紀のあゆみ

2020

ごあいさつ

1957年11月(昭和32年)、10名の二紀展出品者が集まって二紀会北海道支部結成記念の展覧会を行いました。二紀会北海道支部の誕生です。以来、支部研修展、6回にわたる札幌巡回展、道内展覧会や二紀本展での個々の活躍等で知名度を高めながら、現在は将来性豊かな学生や若者層、中堅からベテランまで幅広い人材を有した30名を超える美術家集団に成長してきました。

これらは多くの先輩諸氏のご努力、二紀会諸先生のご理解・ご指導、そして各界の皆様のご指導・ご支援のお陰と心より御礼申し上げます。

令和2年度より支部の執行体制が変わります。それを機会に、長年の支部の活動をまとめたものが無いので、正確な記録を残して次に引き継ぐために記念誌を編纂する事と致しました。古い資料の中から語り継ぐべき貴重な記録を抽出するのは大変な作業でしたが、その年史と直近の21回北海道二紀展の作家・作品を掲載した記念誌です。今後も機会を見て発行していく予定です。

伊藤先生、永野先生が長年にわたり、粉骨砕身し研修や懇親など活発な支部活動を継続されるなかで幅広い年代、地域の仲間が集まりました。私も20年前の初出品から支部に加えていただき制作や生き方について多くを学びました。

この度はこのような大役を引き受けることの責任に身が引き締まる思いであります。支部員一同、協力し合い、切磋琢磨しながら頑張っていきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

二紀会北海道支部
支部長 村上 陽一

二紀会主張

美術の価値を流派の新旧に置かず、皮相の類型化を排する。

具象・非具象を論じない。流行によって時代を誤ることを極力避る。

真に新たな価値を目指し、創造的な個性の発現を尊重する。情実を排しつつ、新人を抜擢し、これを積極的に世に送ることに努める。

二紀会北海道支部の歩みを振り返って

北海道二紀の誕生は1957年の北海道二紀作家展に始まる。小樽出身の画家小島真佐吉委員を指導者に10名の二紀展出品者が集まった。そこに寄せられた宮本三郎初代理事長のメッセージは草創期の二紀会の勢いを感じさせる熱意と格調を秘めている。その後は支部活動としての大きな展開は無かったが、1978年から隔年毎に計4回の札幌巡回展を開催し、道内での二紀会の知名度を大きく高め、支部員も20名を越えた。

私の二紀展初出品は新装なった都立美術館の29回展。その前の2年間は中央での絵の今を確かめようとギャラリー・美術館・公募展を観て回った。会場入り口に展示された「廃兵」に惹かれて二紀展会場に入り、翌年「独立記念日」の前で出品を決意した。初めて知る二紀会だったが、その多様さ、際立つ個性に強く惹かれた。

北海道支部の事務局を携わって35年になる。第4回目の札幌巡回展の懇親会の席、本部役員も同席する中での突然の指名。先輩諸氏をさておき同人成り立ての自分に突然の大役、途方に暮れた。最初の4年間は支部長不在の変則的な体制だったが、理事会の注視とアドバイス、支部の仲間の協力で、同じく会計に指名された永野氏と共にこの時期を何とか乗り切った。

様々な悪条件が重なった第4回巡回展の赤字がこの人事の引き金で、方針も予算もゼロからのスタートだった。巡回展の再開を目標に支部展を充実し、仲間を増やして体力をつける事。出来るだけ詳しく二紀情報を支部員に伝え、各支部員の努力を二紀会運営層に伝える事等、研修と広報活動に力を入れた。当初は、巡回展はもとより講師を招いた支部展すら批判する声があり対応に苦慮した。広い北海道、相互理解の情報不足が多くの原因だったと思う。

多くの仲間が出入りしたが、共によく頑張り、隔年開催の支部研修展を軸に活動の質を高めてきた。著名な画家の講評は鑑賞者も交え熱を帯び、いい学びの空間になった。回を重ねる毎に二紀作家との交流機会も増え、ようやく活動が軌道に乗ってきた。その後2回の札幌巡回展を成功させ、二紀セミナーの研修は出品者層と支援層の拡大に繋がり、学生を中心に道内外で活躍する若者の層も厚くなった。参加者も30名を越え、二紀の中でも中堅支部として存在を高めている。この成長は先輩諸氏が築いてきた土台に、各人の日々の制作努力が積み重なって出来た年輪だ。この貴重な努力の営みを今後も大切にしてほしい。

これからの新体制は、自らの発想でさらに活動の質を高めて欲しい。高い費用をかけての中央出品は、そこで高い造形性や人格・知見との出会いがあるからだ。当然、競い合いの集団だから意に添わぬ事もあろうが。求める中身の質の高さが学ぶ中身を濃くする。 絵の前で語ろう! 縦序列への依存や委縮に偏ることなく、ものを見る眼の深さと多様さ、思考の豊かさを夫々が得る為に。

二紀会北海道支部
前支部長 伊藤 光悦

图 版

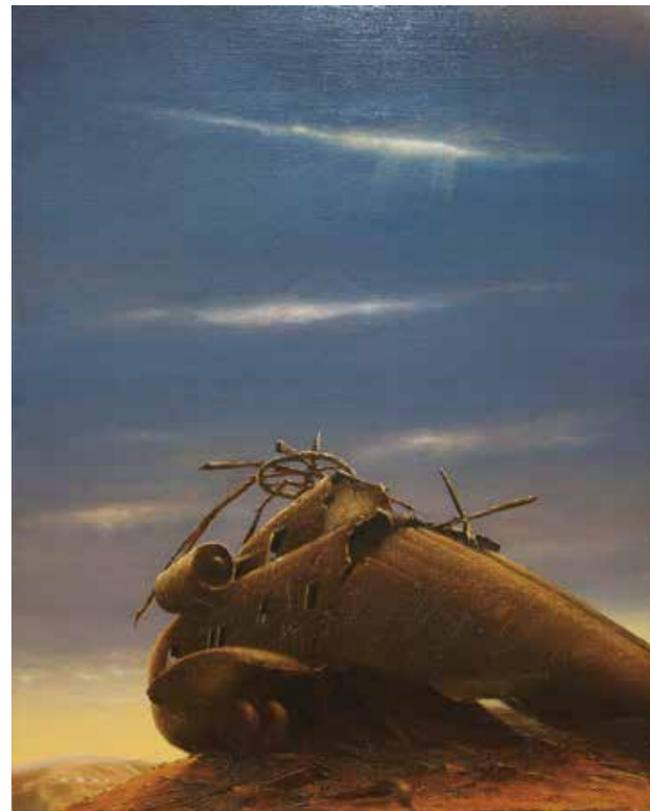


伊藤 光悦

絵画委員

初入選 1975年

北海道美術協会 会員



国境線 F30

大島 忠昭

会員

初入選 1965年



風化樹の大地、銀沼火山の鳥たち F130

永野 光一

彫刻委員

初入選 1979年



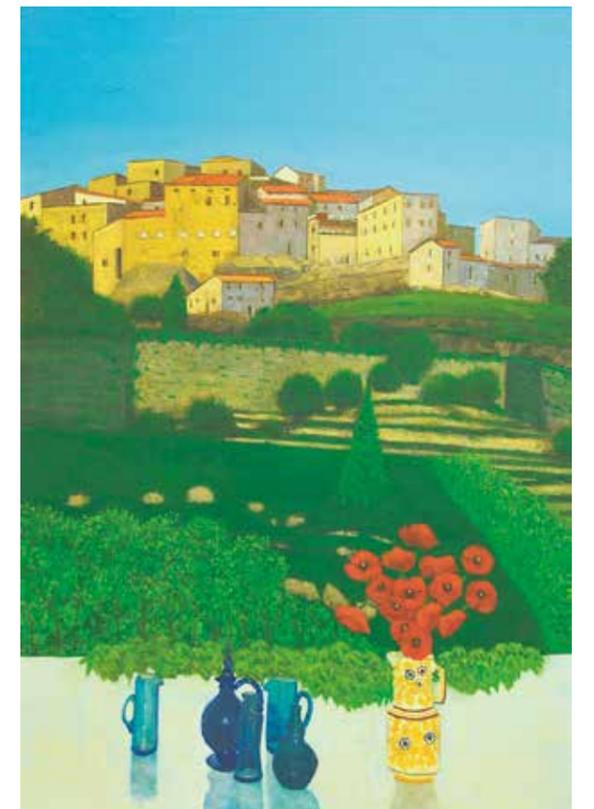
待つ

廣岡 紀子

会員

初入選 1986年

北海道美術協会 会員



追憶コルシカ島 集落 P100

村上 陽一
会員
初入選 2000年
北海道美術協会 会員



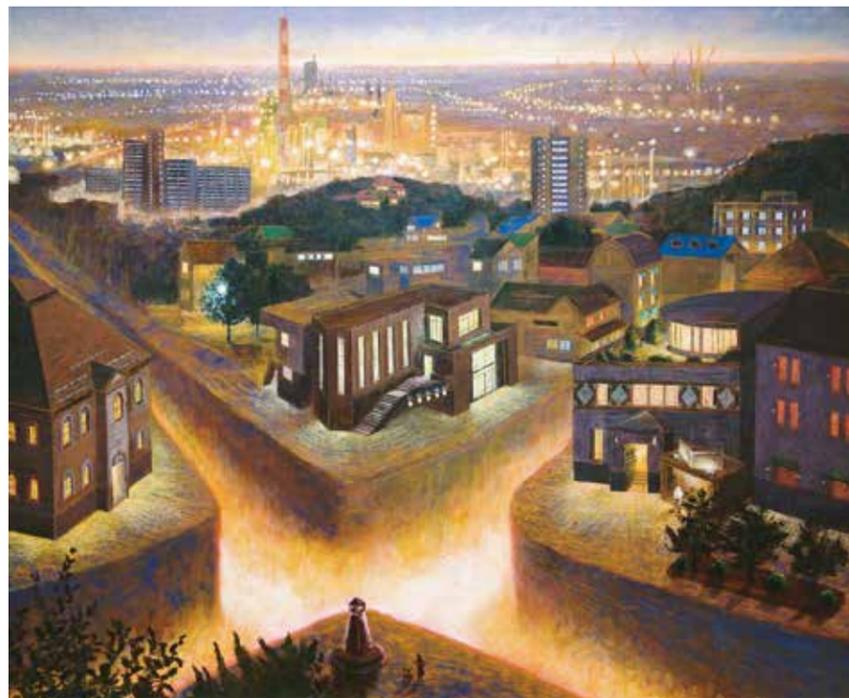
木蓮・羊・鳩 F130

小笠原洋子
準会員
初入選 1989年
北海道美術協会 会員



石船「おそれ・祈り」 F100

大嶋美樹絵
準会員
初入選 1981年



寓話～2019～ F130

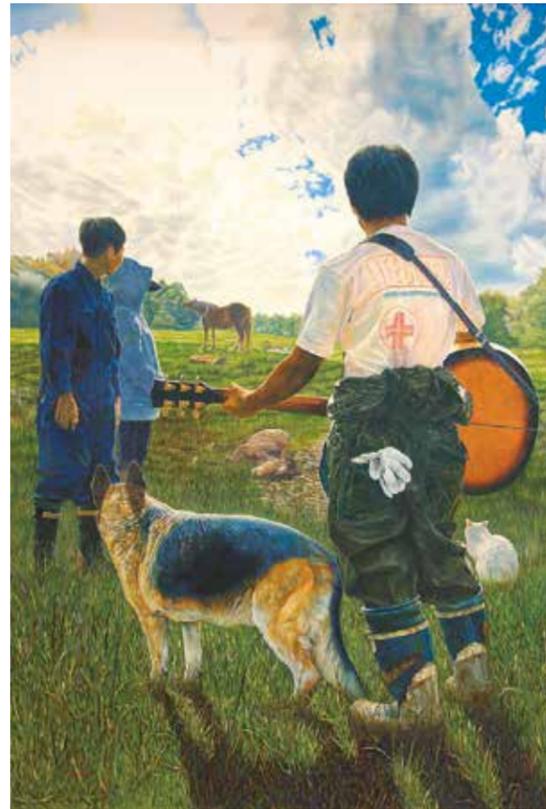
船岳 紘行
準会員
初入選 2004年
北海道美術協会 会友



オオゲツヒメの変容 F130

梅原 賢伸

準会員
初入選 2003年
北海道美術協会 会員



命の灯り(レクイエム) F130

秋山久美子

初入選 2006年
北海道美術協会 会員



風 翔ける S100

津田光太郎

準会員
初入選 2016年



脚本のせいにはできない F130

居林 洋子

初入選 2007年
北海道美術協会 会友



丸加に舞う S100

岩野美恵子
初入選 2017年
北海道美術協会 会員



卓上 F100

小田上飛鳥
初入選 2019年



雨上がり あの森のほとり S100

小川 豊
初入選 2014年
北海道美術協会 会友



心のひだ S100

加藤 早織
初入選 2017年



首と蝶 F100

鎌田 朝緒

初入選 2008年
北海道美術協会 会友



見果てぬ夢 S100

佐藤絵梨香

初入選 2018年



めだつ形 F100

斉藤 順子

初入選 2010年
北海道美術協会 会員



箱舟“終わりのない旅VI” S100

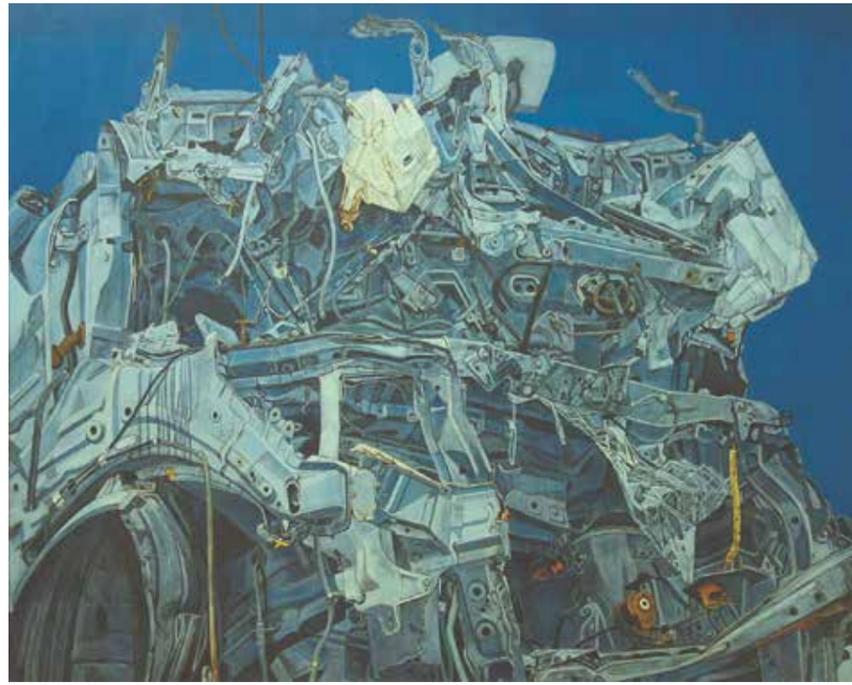
佐藤美和子

初入選 2010年
北海道美術協会 会員



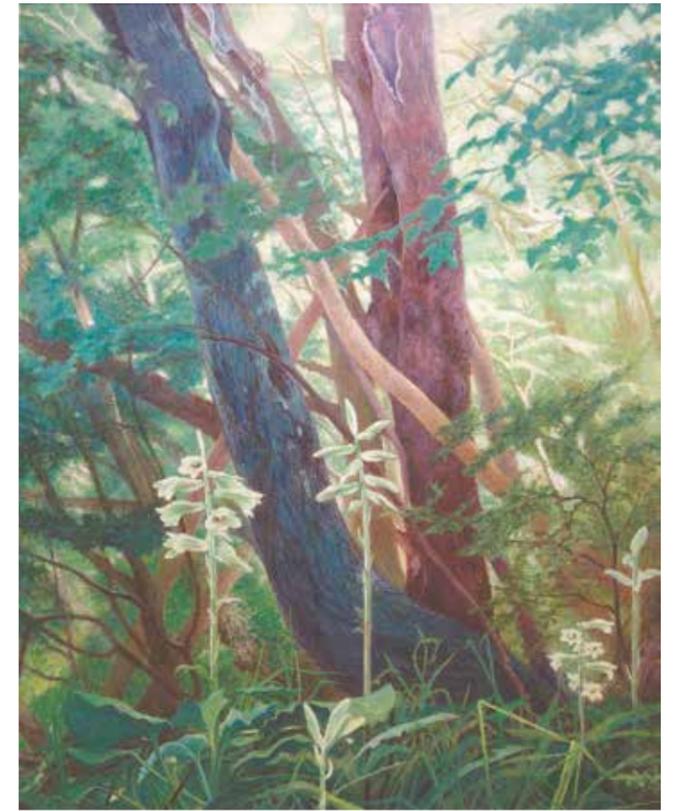
森の入口 S100

田之島篤子
初入選 2000年
北海道美術協会 会友



明日の行方 F100

鉢呂田実代
初入選 2019年



木陰でみる夢 F100

中村まり子
初入選 2015年



福々しい香り F100

浜中マサノリ
初入選 2012年
北海道美術協会 会友



街の図 I F100

藤田 恵

初入選 2009年
北海道美術協会 会員



輪廻 S100

山内 知恵

初入選 2012年



ビニール袋 F100

村岡 陽菜

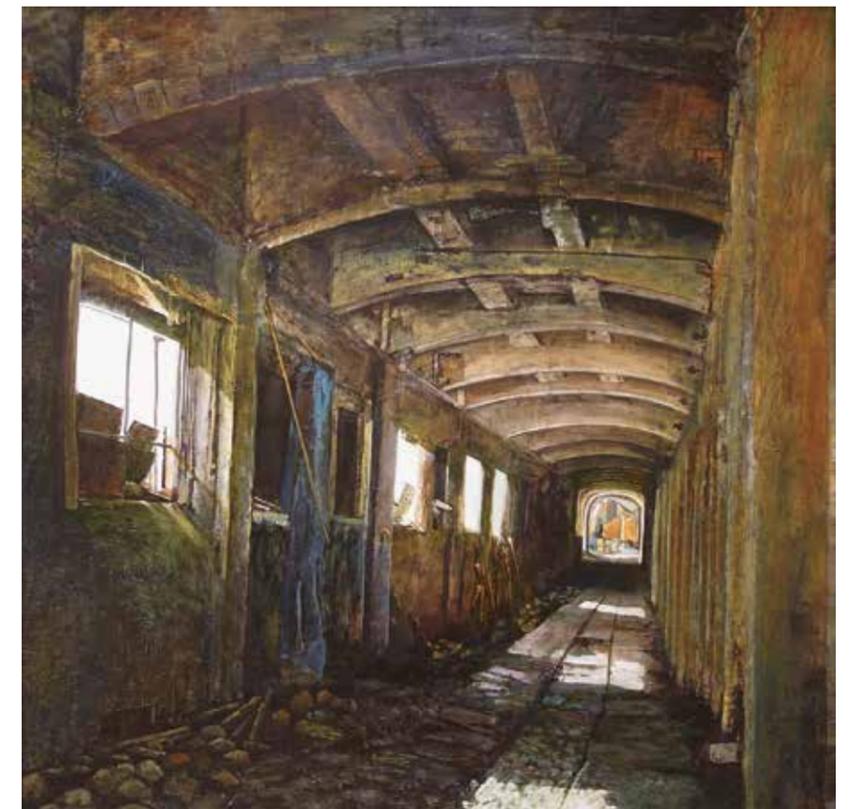
初入選 2012年



live in the past F100

山田 洋子

初入選 2010年
北海道美術協会 会員



坑道 S100

北海道二紀会年史

■社団法人二紀会概略

熊谷守一、栗原信、黒田重太郎、田村孝之介、中川紀元、鍋井克之、正宗得三郎、宮本三郎、横井礼市の9名は、戦前の旧二科会の活動を第一期とし、戦後新しく第二の紀元を画する意図のもとに第二紀会を創立、1947年9月、東京都立美術館に於いて第1回展を開催した。その後の会の発展で名称を二紀会に改め、20周年記念展（1967年）には機構を整備し、社団法人二紀会（初代理事長・宮本三郎）が設立された。以後多くの人材を世に輩出しながら会は発展し、全国に37支部を擁する国内屈指の美術団体に成長した。2006年には60周年記念展を開催し、2007年からは六本木に新設された新国立美術館に会場を移し、さらに充実した展覧会を展開している。

■二紀会北海道支部年史

1950年（昭25） 4回展 8月 **二紀会北海道展**（札幌大丸画廊）、創立会員栗原信が北海道における二紀の知名度を高めようと開催を呼びかける。出品者／栗原信、黒田重太郎、田村孝之介、中川紀元、鍋井克之、熊谷守一、宮本三郎、北海道出品者／千葉七郎（小樽）、著名画家の出品で連日大盛況、大勢の鑑賞者が訪れた。

1954年（昭29） 8回展 佳作賞／大友一夫

1957年（昭32） 11回展 **小島真佐吉**（小樽出身・評議委員）を指導者として支部を結成し記念展を開催。初代理事長・宮本三郎の力強いメッセージが寄せられた。

★二紀会北海道支部結成記念 第1回二紀会北海道作家展（11/12～15） 札幌大丸画廊
出品者／千葉七郎、大友一夫、高橋忠雄、中本昭平、石塚潔、坂本正、三浦慶次郎、角田正夫、杉本勝義、杉原誠悟（計10人） 支部代表／千葉七郎 事務局／中本昭平

1960年（昭35） 3/29～4/1 **第2回二紀在道作家展**（大丸画廊）
出品者／石塚潔、尾形圭介、坂本正、佐々木栄、杉本勝義、鈴木善公、高橋忠雄、竹洞照雄、出羽裕、中本昭平、三浦慶次郎、高野欣郎 招待出品／小島真佐吉、小野重治郎、藤島茂 〈支部事務所／中本昭平〉

1962年（昭62） 16回展 同人賞／大友一夫

1965年（昭40） 北海道二紀作家小品展（東急画廊）

1966年（昭41） 20周年記念展 マツダ賞／大友一夫

1971年（昭46） 25回記念展 同人推挙／大島忠昭

1974年（昭49） 28回展 理事長宮本三郎逝去、田村孝之介理事長就任、旧都立美術館最後の二紀展開催

1975年（昭50） 29回展 新都立美術館での開催
8月 **第3回北海道支部展**（札幌時計台ギャラリー） 17人参加 賛助出品／小島真佐吉

1976年（昭51） 30周年記念展 従来の会員・同人制度を委員・会員・同人とし、従来の会員は全員委員とする。新会員推挙／大友一夫 〈支部代表／中本昭平 会計／高橋忠雄〉

1977年（昭52） 8月 **第4回北海道二紀作家展**（時計台ギャラリー）
31回展 同人賞／中本正平 同人推挙／木嶋良治

1978年（昭53） 4月 前年31回展の**第1回札幌巡展を開催**（北海道立近代美術館） 9日間、総入場者数3531人、北海道関係出品者25人、宮永岳彦副理事長、成井弘常任理事、児玉幸雄監事来道。

1979年（昭54） 33回展 会員推挙／中本昭平 〈支部長／中本昭平 会計／高橋忠雄〉

1980年（昭55） 5月 前年の33回展を**第2回札幌巡回展として開催**（北海道立近代美術館） 10日間、総入場者数3934人、北海道関係出品者24人、宮永岳彦副理事長、成井弘常任理事来道。

6月 選抜展奨励賞／伊藤光悦

34回展 彫刻・優賞／永野光一

1981年（昭56） 35周年記念展 会員推挙／高橋忠雄

1982年（昭57） 4月 前年35周年記念展を**第3回札幌巡回展として開催**（北海道近代美術館） 10日間、総入場者数4149人、北海道関係出品者22人 宮永岳彦副理事長、成井弘常任理事、山本貞理事来道。

7月 宮永岳彦副理事長三越個展レセプションパーティ参加。

1983年（昭58） 7月 **第5回北海道二紀作家展**（大丸画廊） 24人参加
37回展 小島真佐吉／文部大臣賞

1984年（昭59） 4月 37回展を**第4回札幌巡回展として開催**（札幌市民ギャラリー） 11日間、総入場者数2149人、北海道関係出品者24人 宮永岳彦副理事長、成井弘常任理事、山本貞理事来道。

〈支部事務局／伊藤光悦 会計／永野光一〉

38回二紀展 同人優賞／永野光一

1985年（昭60） 7月 **第6回北海道二紀作家展**（大丸画廊） 22名参加

39回展 同人賞／永野光一

1986年（昭61） 40周年記念二紀展 会員推挙／永野光一

1987年（昭62） 8月 **第7回北海道二紀作家展**（大丸画廊） 15人参加

41回展 奨励賞／高橋宗彦

1988年（昭63） 5月 **第8回北海道二紀展**（札幌市民ギャラリー） 派遣講師／小西保文理事
〈支部長／中本昭平 事務局長／伊藤光悦 会計／永野光一 監査／大島忠昭〉

1989年（平1） 43回展 宮永賞／永野光一

1990年（平2） 7月 **第9回北海道二紀展**（札幌市民ギャラリー） 講師／松井叔生理事

1992年（平4） 46回展 安田火災美術財団奨励賞／永野光一

1993年（平5） 3月 前年の46回展を**第5回札幌巡回展として開催**（北海道立近代美術館） 9日間、総入場者数4382人、北海道関係出品者22人、成井弘理事長、山本貞副理事長、山本文彦理事来道。

1994年（平6） 48回展 同人賞／伊藤光悦 会員優賞／永野光一

1995年（平7） 8月 **第10回北海道二紀展**（大丸セントラル） 講師／遠藤彰子委員
49回展 奨励賞／浦隆一

1996年（平8） 第3回春季展 奨励賞／高橋宗彦 同人石塚貴羊史退会
50回記念展 委員推挙／永野光一（彫刻）

1997年（平8） 3月 前年の50周年記念二紀展を**第6回札幌巡回展として開催**（北海道立近代美術館） 9日間、総入場者数3054人、北海道関係 出品者21人 吉野純事務局長、藪野健理事来道

〈支部長／中本昭平 副支部長／永野光一 事務局長／伊藤光悦 会計／高橋宗彦 監査／木嶋良治〉
51回展 会員推挙／伊藤光悦 同人推挙／大嶋美樹絵

1998年（平10） 第4回春季展 奨励賞／浦隆一 同人 木嶋良治退会

1999年（平11） 7月 **第11回北海道二紀展**（大丸セントラル） 派遣講師／北久美子委員
53回展 奨励賞／浦隆一、神谷ふじ子（彫刻） 会員 高橋忠雄退会

〈支部長／伊藤光悦 副支部長／永野光一 事務局長／高橋宗彦 会計／大嶋美樹絵 監査／中丸茂平〉

2001年（平13） 8月 **第12回北海道二紀展**（大丸セントラル） 講師／玉川信一委員
会員中本昭平・功労退会者、同人鈴木善公退会

55回記念展 同人推挙／浦隆一、廣岡紀子、神谷ふじ子

2002年（平14） 56回展 奨励賞／長内さゆみ

2003年（平15） 8月 **第13回北海道二紀展**（大丸セントラル） 派遣講師／遠藤彰子理事
愛媛二紀より藤本稔同人が北海道二紀に転入。

57回展 会員賞／伊藤光悦 奨励賞／新垣アリス（彫刻）

2004年（平16） 58回展 奨励賞／長内さゆみ
5月 二紀美術セミナー開始（10,12月以外の毎月末土曜日、時計台ギャラリー4階実技室）

〈支部長／伊藤光悦 副支部長／永野光一 事務局長／高橋宗彦 会計／神谷ふじ子 監査／中丸茂平〉

2005年（平17） 59回展 奨励賞／山川彩子 委員推挙／伊藤光悦 同人推挙／長内さゆみ
会員大友一夫、同人中丸茂平退会

2006年（平18） 8月 **第14回北海道二紀展**（時計台ギャラリー） 派遣講師／佐々木信平常任理事
60回記念展 記念功労者表彰／同人大島忠昭 同人推挙／松井多恵子

〈支部長／伊藤光悦 副支部長／永野光一 事務局長／高橋宗彦 会計／浦隆一 監査／長内さゆみ〉

- 2007年(平19) 9月 網走市立美術館企画/遠藤彰子個展、講演会に参加・交流会。
12月 第1回北海道現代具象展招待作家・佐久間公憲会員のパステル画技法講座開催(二紀セミナー主催) 時計台ギャラリー 同人松井多恵子退会
- 2008年(平20) 62回展 同人賞/長内さゆみ、神谷ふじ子(彫刻)
- 2009年(平21) 8月 第15回北海道二紀展(時計台ギャラリー) 派遣講師/山本文彦常任理事
63回展 同人賞/長内さゆみ、高橋宗彦、廣岡紀子 奨励賞/秋山久美子、田中慶子 会員推挙/大島忠昭 同人推挙/小笠原洋子
- 2010年(平22) 4月 筑波大学芸術系教官展(神田日勝記念美術館) 玉川信一理事来道、作品解説交流
8月 山本貞理事長(芸術院会員)札幌三越個展、JRタワーホテル35階にて懇親会開催。
64回展 同人推挙/村上陽一 同人神谷ふじ子退会
- 2011年(平23) 8月 第16回北海道二紀展(時計台ギャラリー) 派遣講師/南口清二理事
65回記念展 同人賞/小笠原洋子 奨励賞/船岳絃行 記念功労者表彰/藤本稔同人
- 2012年(平24) 3月 北海道現代具象展(北海道近代美術館)に遠藤彰子、佐久間公憲、栢本龍太氏が招待出品で来道。遠藤彰子講演会を北海道二紀セミナー主催で開催(北海道教育文化会館)
4月 社団法人二紀会から一般社団法人二紀会に移行。東北美術工芸大教官展開催(神田日勝記念美術館) 木原正徳委員来道、作品解説交流。
8月 第17回北海道二紀展(神田日勝記念美術館企画) 講師/玉川信一委員(美術館依頼) 出品者30名
66回展 準会員賞/大嶋美樹絵 会員推挙/高橋宗彦 準会員推挙/船岳絃行 準会員浦隆一退会
〈支部長/伊藤光悦 副支部長/永野光一 事務局長/高橋宗彦 会計/村上陽一 監査/廣岡紀子〉
- 2013年(平25) 第11回春季二紀展 奨励賞/柏木健佑 会員高橋宗彦退会、準会員藤本稔退会
67回展 二紀賞/柏木健佑 宮本賞/永野光一
〈支部長/伊藤光悦 副支部長/永野光一 事務局長/村上陽一 会計/船岳絃行 監査/廣岡紀子〉
- 2014年(平26) 5月 中村智恵美委員個展(神田日勝記念美術館) 神奈川二紀歓迎交流会
8月 第18回北海道二紀展(時計台ギャラリー) 派遣講師/立見榮男常務理事
68回展 成井賞/伊藤光悦 準会員賞/小笠原洋子 準会員推挙/梅原賢伸
- 2015年(平27) 8月 支部総会 会費13,000円、30歳以下8,000円に決定
69回展 文部科学大臣賞/永野光一(彫刻) 損保ジャパン日本興亜奨励美術財団賞/船岳絃行 会員推挙/廣岡紀子
- 2016年(平28) 3月 東京二紀主催「二紀会の仲間達10人展(都立美術館)に小笠原洋子出品
8月 第19回北海道二紀展(時計台ギャラリー) 派遣講師/吉岡正人委員
70回記念展 奨励賞/中村まり子 奨励賞/佐藤美和子
- 2017年(平29) 第13回春季二紀展 新人選抜奨励賞/三村紗瑛子
71回展 準会員賞/村上陽一 優賞/三村紗瑛子 準会員推挙/津田光太郎
- 2018年(平30) 8月 第20回北海道二紀展(北広島芸術文化ホール) 派遣講師/佐久間公憲委員
72回展 宮永賞/船岳絃行 奨励賞/中村まり子 会員推挙/村上陽一 準会員推挙/三村紗瑛子
- 2019年(令和) 第14回春季二紀展・新人選抜奨励賞/中村まり子
8月 第21回北海道二紀展(北広島市芸術文化ホール) 派遣講師/木原正徳委員
支部総会にて次年度の支部体制決定
73回展 準会員賞/大嶋美樹絵 二紀賞/中村まり子 奨励賞/小松美月 準会員推挙/田之島篤子
- 2020年(令和) 4月 新支部体制発足 支部長/村上陽一 事務局長/船岳絃行 会計/梅原賢伸 監査/廣岡紀子
支部創立記念誌刊行

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 伊藤 光悦 | 永野 光一 | 大島 忠昭 | 廣岡 紀子 | 村上 陽一 | 大嶋美樹絵 |
| 小笠原洋子 | 船岳 絃行 | 梅原 賢伸 | 津田光太郎 | 秋山久美子 | 阿部 正子 |
| 居林 洋子 | 岩野美恵子 | 小川 豊 | 小田上飛鳥 | 加藤 大幹 | 加藤 早織 |
| 鎌田 朝緒 | 川上 直樹 | 小松 美月 | 斉藤 順子 | 佐藤絵梨香 | 佐藤美和子 |
| 田之島篤子 | 中村まり子 | 鉢呂田実代 | 浜中マサリ | 藤田 恵 | 水尻 悦子 |
| 村岡 陽菜 | 山内 知恵 | 山川 彩子 | 山田 洋子 | 山根 悠莉 | |

二紀会北海道支部名簿 令和2年3月28日現在



2019北海道支部展

編集後記

二紀会北海道支部が誕生してから62年の歳月が流れました。我々が思っていた以上に北海道は古参の支部であったことに驚きます。支部活動の過去と現在を年史と作品でまとめた事は、支部体制が交代するこの時期にとっても大きな意義があると思います。この流れをより豊かにし、次に繋ぐため、日々の制作に努力しましょう。年史は中本・伊藤両支部長が残した資料や記録、会報から抜粋して編集しました。

北海道二紀のあゆみ 2020

発行日 2020年6月1日

発行者 一般社団法人二紀会北海道支部

編集委員 村上陽一、船岳絃行、梅原賢伸、伊藤光悦

印刷・製本 中西印刷株式会社